

廿日市市

平成25年1月1日

第52号

# シルバーだより

編集・発行 公益社団法人 廿日市市シルバー人材センター  
廿日市市下平良1-1-5  
電話 0829-20-1468 FAX 0829-20-1470  
ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/hatukaichi/>

正会員 821人  
男 性 617人  
女 性 204人  
(11月30日現在)



厳島神社祓殿雪景 撮影：新谷孝一会員

〃 監

事

張 田 石 武 本 中 佐 上 山 湊 北 佐 加 田 田 岡  
間 中 角 田 間 川 藤 羽 口 崎 本 々 藤 代 中 崎  
洋 博 修 英 孝 尊 博 隆 智 義 賢 文 孝 源 敏 美  
司 隆 貴 明 弘 子 惠 則 浩 夫 美 一 冶 弥 子

職員一同

理事 田 岡  
常務理事 田 中  
理事 田 敏  
理事 田 治

謹んで新年の  
ご祝詞を申し上げます  
皆様のご健康とご多幸を  
役職員一同心から  
お祈りいたします

## 新年のごあいさつ

理事長 岡崎 美弥子



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ご家族揃ってお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界中が地球温暖化等に起因する異常気象に見舞われ、我が国でも例年にないような猛暑、集中豪雨など天候不順のため日本各地で過酷な被害に遭われた方も多く、東日本大震災とともに一日も早い復興が望まれるところです。

昨年のセンター事業は、公益社団法人としての初年度決算・会費値上等の重要議案のご審議を頂くなど、会員の皆様のご協力、ご支援に対し深く感謝しお礼を申し上げます。

センター事業の運営につきましては、依然として不透明な景気の低迷と政治の変革等により、運営費補助金の減額のみならず、事業費補助である拠点センターで3事業までとされており企画提案型補助事業「廃油回収」「子育て支援」「高齢者支えあい」も事業期間が短縮され補助金が終了するなど、極めて厳しい状況ですが、今年度も財政健全化対策として経費の見直し、自主財源確保等、会員の皆様のご協力を得ながら役職員一丸となりセンター事業の存続に向け、鋭意努力を傾注してまいりたいと考えております。

全国でおよそ1,300センターにおいて、約80万人の会員が就労している中、今後さらに高齢化が進むことにより、センターを通して就業を希望する高齢者が増加すると考えられ、センターは積極的に就業機会の確保、就業の拡大を推進することが益々重要となります。

全国シルバー人材センター事業協会の調査研究報告では、医療・介護費・生活保護費の削減、地域福祉・地域環境維持・地域文化伝承・地域産業支援・ボランティア活動等々の社会貢献は、試算によるとおよそ1,520億円に相当するとも言われております。こうした状況においてセンターは地域社会にとってかけがえのない高齢者就業団体であると言えます。

超高齢社会にあってセンターの役割は、多様な地域社会の要請に呼応し、会員各自が誠意のある就業と安全確保により、明るく活力のある事業展開をすることが地域社会に強く望まれ、信頼されることだと確信いたしております。

今後、過渡期であるセンターがいかなる変革を遂げようと「会員はフルタイムでの労働をするのではなく、自主的・自発的に仕事を引き受け、それを通じて社会活動に参加し、共に助け合い、仲間意識を持ち働くことで生きがいを見出す。」ことに変わり無く、これが全てだと思います。

関係各位の皆様におかれましては変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

本年も皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



シルバー「夢サロン」縫製作品

## 2013年の新年を迎えて

廿日市市長 眞野 勝弘



新年明けましておめでとうございます。  
廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃から、市政の推進に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、廿日市市シルバー人材センターでは、昭和59年の設立以降、高齢者の健康増進や社会参画はもとより、最近では放置自転車リサイクル事業、託児・学童保育事業など、時代のニーズに合った事業展開も積極的に実施されてきた実績が認められ、平成23年には公益社団法人へ移行されたところでございます。

どうかこれからも、岡崎理事長をはじめ、会員の皆様が一丸となって様々な事業に取り組んで行かれますことを願っております。

昨年、本市では、第5次総合計画の後期基本計画がスタートするとともに、市民や各種団体・企業、行政が連携・協力してまちづくりを行うことを目的とした、「協働によるまちづくり基本条例」を施行し、「笑顔と活力に満ちた元気なはつかいち」の実現に向けて、様々な取り組みを進めているところでございますが、その中であって、皆様が長年積み重ねてきた豊富な知識や経験は欠かせないものでございます。

今後も、シルバー人材センターでの活動や地域での活動を通じて、本市のまちづくりに対して、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

廿日市市議会議長 角田 俊司



明けましておめでとうございます。  
シルバー人材センター会員の皆さま関係各位におかれましては、平成25年の初春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内外で色々な出来事がございました。国政につきましては、12月16日に衆議院議員選挙が行われ、新体制でスタートをしているところです。経済動向につきましては、一昨年の中東大震災や欧州金融危機、円高などが大きく影響しており、依然として順調な回復が望みにくい厳しい状況が続いております。

このような厳しい経済環境にもかかわらず、シルバー人材センターにおかれましては、新たな分野の業務を開拓されるなど、皆様のご努力により、着実な事業実績をあげておられることに、心から敬意を表する次第です。

わが国は、世界でも例を見ない高齢社会に入っております。長い経験に培われたシルバー世代の皆様の叡智や技能を、各方面に役立てていただくことは、地域社会にとって大変頼もしいことであると存じます。今後のシルバー人材センターの活動に対して、一層のご期待を申し上げます。

今年は、廿日市市の市制施行から25周年を迎えます。市議会といたしましても、安全で快適な活力と思いやりのある、豊かな地域社会が実現するよう全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、シルバー人材センターのますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## 就任挨拶

常務理事・事務局長 田中 敏治

新年明けましておめでとうございます。昨年7月、シルバー人材センター常務理事・事務局長に就任致しました田中でございます。この歴史あるセンターの、運営の一端を担う立場につかせていただいたことは、光栄に感じるとともに、責任の大きさに身の引き締まる思いです。

シルバー事業の運営は、景気の低迷により受注額が減少の一途をたどり、加えて、国等からの補助金も事業仕分け等により大幅に削減されてきており、大変な苦境に陥っております。一方で、団塊の世代が65歳に到達するなど、シルバー事業への期待、役割は年々大きくなっており、就業機会の確保、職域の拡大等受け入れ態勢の整備が喫緊の課題となっております。

こういった状況の中、はなはだ微力非才の身ではありますが、これまでに携わってきた業務での知識と経験を活かし、センターの充実・発展、刷新・強化に努め、ひいては会員の皆様の「社会参加、生きがづくり」につながるよう全力を尽くしたいと思います。

ぜひ、会員の皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## とし男・とし女

### 「としおとこのおせっかいやき」 大野三区 濱崎 豊



私は大野に住んでおりますが、地域の方々には何かとよく声をかけていただき、「とても住みごちの良い地域」に来たと思いつつ、はや18年になります。定年後、大野支所、本所へと勤務し、現在は会員として市民センターにて就業しており、皆様のお役に立てればと日夜努力しています。又、昨年度から、広報・福利厚生部会の一員として協力させていただいています。その他でも色々な就業におせっかいと思いつつ、携わっております。今年は、私の年。健康に留意し、シルバーの一会員としてお役に立てるような年男にしたいと思っています。最後に新しい年を迎え、益々のシルバーの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

### 「笑顔に励まされて」 宮内班 中村 一恵



明けましておめでとうございます。私はとし女として8月で72歳になります。シルバーに入会させていただいてから、すでに十数年が経過いたしました。早いものであつという間でした。初めての就業は、ひとり暮らしの女性のお宅の買い物と掃除でした。仕事の終わった後、お茶やお話するのを楽しみにしておりましたが、ご高齢のため東京の娘さん宅へ引越されて行かれました。現在は、小学校の用務員をさせていただいております。校舎の内外的なお仕事です。夏の暑い時、冬の寒い時の外の作業はつらい事もありますが、丹精込めて育てた花壇の球根が芽を出した時、又、お花がいっぱい咲いた時、本当にうれしいものです。先生方や子ども達の笑顔に励まされ楽しく過ごしております。今後ともよろしくお願い致します。

### 「笑顔と健康で」 津田班 中村 政春



謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年一月にて7回目のとし男となります。シルバーに入会して10年になります。色々な就業をすることができましたのはセンター及び諸先輩方、同僚のご指導、ご協力の賜物と感謝いたしております。一日一日を大切に、人生を振り返り「かきくけこ」に集約しました。「か」は感謝、まずは感謝して毎日楽しく平凡に過ごせればそれだけでありがたいこと。「き」は興味を持って何事にも当たっていき、絆を大切に。「く」は苦勞苦勞も毎日の勉強だった、又工夫も。「け」はもちろん健康、何をするにも元気でなければいけない、継続の力。「こ」は心意気である、高齢になった今プラス思考で自分に言い聞かせて行きたい。これからも健康に気を付けて命ある限り交流の輪を大切に皆様と絆を大切に広げて参りたいと思います。会員の皆様のご健康とご多幸を祈念致します。

## 専門部会 新年を迎えて

### 「就業先の確保」

総務部会長 北本 賢治

医療・年金・介護と高齢者問題が、世間では常に話題になっています。シルバー事業の担い手である団塊世代が、シルバー会員の予備軍として進む中、永年培ってきた知識と経験そして技能の発揮を生かせる就業先の確保が、重要な課題となって参りました。しかしながらリーマンショック以来、長期の景気低迷により受注環境は、依然と厳しい状況が続いています。総務部会の取組としては、会員皆さまが就業されている民間企業を洗い出し、就業確保の拡大を目的とした環境作りを目指しています。もちろん、就業された方が丁寧な仕事をしていただく事によりリピーター確保、更には新規就業先の確保とシルバー事業の財政安定基盤にも繋がってきます。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 「ニーズに合った情報提供を」

普及啓発部会長 佐々木 文夫

シルバーでは、「仕事を依頼したい!」、「自分で働いてみたい!」そんな皆様のニーズに合った情報提供を行なっています。そのためのツールとして、イベント、各種祭り、そして集会などを利用して啓発パンフレットの配布を行っています。併せて、高齢化による過疎地域を中心に地域内においても各戸へのポスティングを行っております。又、地域に溶け込み活動し活躍しているシルバーを地域の皆様に見てもらうことが広報活動につながると確信し、各種行事に手分けして積極的に参加し、シルバーの情報発信を行なっています。

こうした地道な取り組みを続ける事こそが普及啓発活動の目標達成への近道であり、ひいてはシルバー人材センター飛躍の一助となると考えています。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 「シルバーに活力を」

広報・福利厚生部会長 中川 尊弘

今年度から、広報・福利厚生部会長のご指名をいただき自分に出来るか不安でしたが、先輩の指導を受けなんとか進めることができ感謝しています。そして今年度の年間行事として前年度にならぬシルバー活動に活力を与えるように努めたいと思い、まずはじめに日帰り旅行を実行しました。旅先の自由行動で迷った者がいてあわてることもありましたが、旅行はやはり一泊がいいとか楽しみが広がります。次はグランドゴルフ、スコアをあげようと我を忘れて熱中し会話もはずみ、これがいいところでした。新春互礼会並びに囲碁大会も用意しております。会員同士の親睦も深め又シルバー独自の行事だけでなく、「あいプラザ祭り」のような行事にも参加をし、地域に溶け込む事も大切です。年間4、5回、部会で、色々と有意義に参加できるよう協議していますので少しでも多くの参加をお待ちしております。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

### 「安全は 一声かける ゆとりから」

安全管理部会長 湊崎 義則

安全就業のため、自分の安全は自分で守ることを基本に、他者への注意喚起ができれば事故件数も減るはずですが、しかし、平成23年度県下シルバーでは37件の重篤事故、85件の損害事故が、当シルバーでは7件の損害事故が発生しました。事故が減少しない理由として、事故は他人ごとという問題意識の希薄さ、そして周囲の状況の確認不足、器具の点検不足、慣れによる心の油断・横着等が考えられます。また、就業途中にも事故は潜んでいます。本年も剪定・除草など安全就業研修会を開催しますので多数のご参加をお願ひします。私達高齢者は、「慣れ・油断・過信・横着」を肝に銘じ、安全就業に努め事故の撲滅に努めることが肝要です。これから寒い日が続きます。どうか風邪などひかぬよう手洗い、うがいを励行され健康には十分留意され、元気で、健康、明るい集団として地域社会の中で活動して行きましょう。

### 「明るい笑顔で周りに元気をあげて」

女性部会長 山口 智恵子

本年度事業計画と共に女性会活動を進めてまいりました。その活動目標は(1)子育て支援事業では育児経験を生かしたさらなる資質の向上。(2)介護・家事援助等、元気なシルバー会員の地域福祉への貢献と独自事業の開拓。(3)イベント参加による女性会のPR、活動の推進です。今年度も各種イベントで炊込みご飯を販売しましたが、その準備、販売に多くの会員のご協力をいただき、また会場で買ってくださる会員など、更なる繋がりを再認識しました。行事の度に元気な会員の経験と能力の底力を感じており、今後もそれを生かせる就業の開拓が出来ればと思います。来月24日(日)の「女性部会総会並びに親睦会」には多くの皆様にご参加いただき、より一層の親睦を深め、今後の活動の活力になればと思います。女性会員一人一人が自分の健康に留意し、まずは仕事の前に明るい笑顔で周りの方々に元気を分けてあげて就業に取り組むことが大切かと思ひます。今年も女性部会にご支援いただきますようよろしくお願ひいたします。

(5)

# 平成24年 写真で 見る活動記録



1月 新年の幕開け  
新年互礼会



1月 力作揃いの  
会員作品展



2月 松剪定講習会



2月 女性部会リフォーム作  
品ファッションショー



新役員の紹介



4月 さくら祭り参加



10年表彰の皆様



6月 定期総会の開催

7月 海のクリ  
ンアップ作戦  
参加



宮島厳島神社前



6月 安全管理部会パトロール



5月 剪定講習会



大野鳴川海岸



阿品海岸



9月 なごみの会 出雲神話の国ツアー



宮内串戸駅前



宮島口駅前

10月 シルバーの日ボランティア清掃



前空駅前



佐伯横矢公園



10月  
全会員研修会



11月 佐伯リサイクルまつり参加



10月 ふすま・障子張替講習会



↑慎重な品定め？



10月 環境フェスタ参加



10月 女性部会リサイクル  
品在庫一掃セール



11月 あいプラザまつり参加



10月  
なごみの会  
グランドゴルフ大会



11月 四季が丘後期班会議



11月 女性部会  
交流会吉和クヱーレ



12月 (H23)  
原班 清鈴園餅つき  
ボランティア

あいプラザまつり



11月 普及啓発部会  
ちらし配り



佐伯リサイクルまつり

11月 もみじ狩り  
ハイキングクラブ



# 私達も頑張っています！

「蜂の巣駆除班」 リーダー 割鞘長光  
 謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。当センターに於いて、スズメ蜂の巣の駆除を始めて17年を迎えました。越冬中の女王蜂には、「明けましておめでとう。さりとて生きることは共有できるが、共に共存は辛いぜっ！サッサと今年も早く出て来いよ！」と云う思いで、蜂班は元気で新年を迎えました。パンツまで全身汗だくの就業も、発注者から熱い安堵の言動姿を目の当たりにすると、実に嬉しい価値観を味わう就業冥利に尽きると素直に思考する次第です。本年も蜂駆除班は心中では合掌しながらも、東西南北各方面へと可能な限り駆除作業に勤しんで参る所存です。応援宜しくお願いいたします。



## 「会計事務補助講習」を受講して

上平良班 須藤 美恵子

昨年7月、パソコンでの会計事務講習を受講させていただきました。受講生の中では、多分私が最高齢、それに簿記やワープロはできてもパソコン入力はほとんどできない状態でしたので、とても不安を抱いての入講でした。10日間で、パソコンの基礎、エクセル・ワード、複式簿記そして会社設立の入力方法、販売管理の受発注、売掛、買掛等、給与関係、試算表の作成と毎回毎回凄いスピードの授業内容でした。とても全てを把握できませんでしたが、もう少し勉強したら、少しは私にもできるようになるかも知れないという期待が持てました。知らない事にチャレンジでき、充実した時間を過ごせることができたのは、シルバーのお陰と嬉しく思いました。

## なかよしクラブ・なかよしルーム

元気な子供たちを相手に子育て支援に日夜奮闘しています。



ルーム

クラブ算数教室

カヌー教室

## 高齢者生活支えあいワーキングチーム

「元気なお年寄りづくり」に頑張っています。昨年4つの会場で136人の参加がありました。



楽しくにぎやかに健康体操



ゲームで若返り



脳年齢の測定に挑戦



健康チェック



ほかほかのお食事

## 夢サロン

わいわいがやがや、楽しくおしゃべりしながらいろいろな小物など作っています。



夢サロン製作 お相撲さんの綱引き風景

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。「近いうちに・・・」発言から、衆議院の解散、政党の離合集散、衆議院選挙とあわただしい年末でした。この「シルバーだより」がお手元に届くころには選挙結果も出て、政治の方向性も見えてきていることと思います。これまでシルバー事業の重要性、存在意義については国においても十分認識され、理解をいただいておりますが、予算措置等は行政刷新会議の事業仕分けを始め、非常に厳しい状況となっていました。つぎの政権にはシルバー事業にとって明るく期待できる政治をぜひ行なっていただきたいものです。※今号から、より新年号らしく発行日を1月20日から1月1日に変更しました。



## 表紙写真「祓殿雪景」

表紙の写真は宮島班副班長の新谷孝一会員が撮影されたものを提供いただきました。雪降る中の厳島神社客社祓殿です。撮影にはずいぶん苦勞されたようで滅多にないシャッターチャンスを見事にものにされています。

